



さまざまな訓練を実施

各地域で行われている防災訓練。災害時のさまざまな場面を想定し、地域の力を合わせて適切な対応を取るための備えです。

主な種類として「避難訓練」、避難所の「運営訓練」や「炊き出し訓練」、「救出・救護訓練」、「水防訓練」、「消火訓練」があります。

これらの訓練は、災害リスクなどの地域特性を考慮し、自主防災会が消防や地元企業などと協力して実施しています。また、子どもを対象とした防災教室も行っています。

防災訓練の日程などは、各地域の回覧板や掲示板などでお知らせしています。

自主防災会とは

住民一人一人が「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成される組織です。自主防災会の活動により地域の防災力が向上し、コミュニティの活性化にもつながります。市では、町内会・自治会単位を基本として市内全域で結成されています。

必見！「たちまち防災」

防災ハンドブック「たちまち防災」は、自主防災会のほか、「たちまち」ここが知りたい！と思う防災情報が満載です。各区地域起こし推進課で配架のほか、市ホームページでも閲覧できます。



市HP ページ番号 17942

訓練補助金を拡充、より多様になった防災訓練にご参加を



災害予防課 小柳 譲 主事

自主防災会が、より充実した防災訓練を実施できるよう、今年度から「広島市防災訓練補助金」を拡充しました。

小学校区単位の自主防災会への補助金を増額したほか、町内会単位でのとんど祭りなど地域の行事と併せて実施する防災訓練も補助対象になりました。

自主防災会の防災リーダーなどを中心に多様な訓練が実施されています。ぜひ、お住まいの地域の防災訓練に参加しましょう。

補助金について、詳しくは市ホームページで。

市HP ページ番号 319346



家族で参加しやすい！楽しめる！

井口四丁目防災訓練（西区）



イベント感覚で気軽に参加できたよ



家族連れの参加促進に遊びコーナーなども

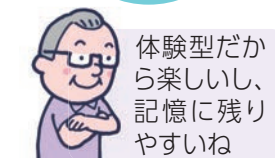
5月中旬、井口四丁目町内会自主防災会（西区）は、地震を想定した訓練を開催しました。炊き出し、AED操作、起震車による体験などを実施。遊びコーナーなどもあり（左写真）、家族連れの参加も多く、幼児の人形を使った救護訓練を真剣なまなざしで見学する親子の姿も見られました（右写真）。

参加した子どもは「堅苦しいところかと思ってたけど、楽しかった」と笑顔を見せていました。



AEDは音声案内があるから安心して操作できたわ

可部学区防災訓練（安佐北区）



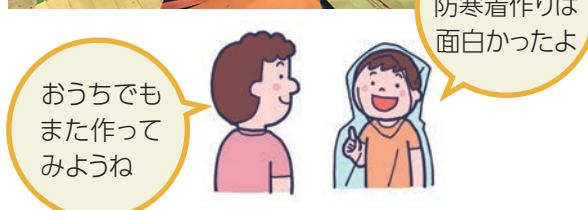
体験型だから楽しいし、記憶に残りやすいね



土石流の仕組み学習や簡易トイレ作りなど

可部学区自主防災会連合会（安佐北区）は、7月上旬、国や県などと連携して実施。参加した子どもたちは、模型で土石流の仕組みを学んだり段ボールやごみ袋でベッド（左写真）、簡易トイレ、防寒着（右写真）などを作ったりする体験をしました。

参加した人は「段ボールベッドは簡単に組み立てられるのにとっても丈夫で、寝心地も良く驚いた。いざというときは活用したい」と話していました。



おうちでもまた作ってみようね

ごみ袋での防寒着作りは面白かったよ

地域と学校が連携した防災教室（佐伯区）

地域の防災リーダーを講師に、小学校などで防災教室を行っています。



「わがまち防災マップ」を使い危険箇所をチェック

6月上旬、五月が丘小学校（佐伯区）で5年生が学区の地図を囲んでいました（右写真）。自宅や安全・危険と思う場所にシールを貼り、その後、「わがまち防災マップ」と見比べ、危険な箇所を確認しました。また、展示された新聞紙スリッパ（左写真）などにも興味津々でした。

児童らは「身近な危険箇所を家族にも伝えたい」と話していました。



○○さん！

近所同士、声を掛け合って避難したいね



気軽に参加しよう 楽しく学べる 防災訓練



市内各地域では、自主防災会が防災訓練を実施しています。実際に災害が発生したときに役立つよう、工夫して行われている防災訓練を紹介します。図災害予防課（☎504-2664、☎504-2802）

防災訓練の種類と各地域で行われている訓練

危険から身を守る 避難訓練

突然の災害にも落ち着いて避難行動を取ることができるよう、避難経路や避難場所の確認をする訓練です。



地元団体とも連携・協力

竹屋地区自主防災会連合会（中区）は、昨年10月、地元企業なども参加し、地震を想定した避難訓練を行いました（右上写真）。避難所周辺には消防団員を配置し、避難誘導を行いました。

避難行動要支援者の避難訓練

平和台町内会自主防災会（安佐南区）では、6月下旬、大雨により警戒レベル3「高齢者等避難」が発令された



避難しながら土砂災害などの危険箇所も再確認できた。参加して本当に良かったわ

避難所での炊き出し訓練

限られた道具を有効活用して、食料や飲料水を確保する方法や技術を習得する訓練です。



調理からパック詰め、配食の分担作業を確認

向洋本町自主防災会（南区）は、昨年11月、水分を加えるだけで食べられるアルファ米（防災食）を使った炊き出し訓練を行いました（下写真）。

パック詰めや配食などの分担作業の中で、参加者の一人は「連携がうまくいかない時があり、課題が認識できてよかった。



流れを見直していきたい」と話していました。



連携しながらの作業は気持ちも一つになれるね

ご飯もどん汁もおいしかった！



防災訓練は地域の“絆づくり”

西区防災リーダー・中下 涼さん(27)

「防災活動」に携われば携わるほど、地域の皆さんと対話を重ねれば重ねるほど、防犯って地域の“絆づくり”だなと思うようになりました。

「防災訓練」という響きはちょっと重いですが、誰か

避難所の運営訓練

避難所ごとに作成されているマニュアルに基づき、避難者の受け付け、避難状況の情報収集ととりまとめ、避難所の安全確認などを行う訓練です。



個人情報登録の二次元コードで速やかな受け付け

矢田町内会自主防災会（東区）は、6月上旬、土砂災害を想定した避難訓練を実施。地域独自の取り組みで、参加者は持参した避難者カード（左写真）に掲載の二次元コードを受け付けで読み取ってもらい、スムーズな入場ができました（上写



スムーズな運営は助かるね



真）。コードには名前や住所のほか、障害やアレルギーの有無などの情報が記録され、避難所での配慮も受けられます。

温品学区自主防災会連合会の木村隆明会長は「このシステムを学区内の他の自主防災会にも普及させたい」と話します。

応急時の救出・救護訓練

火災や建物の崩壊などによる、けが人の救出や応急手当を訓練します。



AEDの使用訓練や毛布を使った応急担架作り

6月中旬、麦谷下一二町内会自主防災会（佐伯区）は、AEDを使った救護訓練を実施しました（左写真）。

大州小学校（南区）では、昨年11月に防災教室



身近にある物で助けられるんだね



応急時の水防訓練、消火訓練

水防訓練は、台風や大雨などによるけが崩れや浸水被害を想定し、土のうの作り方や設置を行うもの。消火訓練は、火災発生時に消火器を活用できるように模擬消火を行うものです。



市総合防災センターで体験できます

権現町内会自主防災会（安芸区）は、6月中旬、土砂災害や川の氾濫を想定した「土のう作り」と「土のう積み上げ」訓練を行いました（左写真）。



土のうが作れるようになったよ



消火器の使い方もバッチリ！



体験学習の申し込み方法など、詳しくは同センターホームページで。

広島市総合防災センター 検索



のための機会ではなく、自分自身や半径数メートルにいる大切な人・ものを守り抜くための学びの機会です。地域の“絆”で災害を乗り越えるため、みんなで気軽に防災訓練に参加しましょう。